

柏市地方創生総合戦略指標管理票 事前意見書

基本目標 1

該当個票No	考えられる未達要因や達成に向けて今後必要と思われる取組み・アイデア
3	虐待通報を含む相談件数が増加しており、関係部署との連携が一層重要になっていくと思われます。「地域保健課」の妊娠届出時の保健師との全数面談が実施されているということなので、こども福祉課とも連携して、切れ目の無い情報共有のしくみを庁内で確立していくことが重要と考えます。個人情報保護に留意しつつ、常にアップデートされたデータがリアルタイムで検索できるようなシステムと、時系列での責任者・責任所在を明確にすることで、見逃しや漏れの無いようにしていただきたいと思います。

基本目標 2

該当個票No	考えられる未達要因や達成に向けて今後必要と思われる取組み・アイデア
4	「生活習慣病対策＝ウォーキング」という発想もありますが、「道の駅しようなん」は駅から徒歩25分ほどかかる場所にあります。個票4と個票8の取り組みを連携することでお互いを出し合うと、互いを補うアイデアが生まれてくると感じています。道の駅しようなん、かぶをはじめとした柏市の豊かな農作物など、見どころがたくさんありますが、「駅から遠い」という印象が先行して、若者の集客力が不足しているように感じます。(本学の学生からのヒアリングにて) 大学間連携も絡めて、これらの課題を横断的に取り組んでいける体制ができるとよいかと感じました。
4	若い世代や働く世代に対しては、「ウォーキングバスポート」のイメージをがらりと開る必要があるのではないのでしょうか。若者や働く世代は、自分たちで24時間営業のトレーニングジムなどに通ったり、健康志向が高い人たちは努力していますので、市内のジムの割引クーポンや、ジムでのウォーキングマシン利用分をカウントするなど、この世代のイメージに合ったアプリやインセンティブの提供が必要だと思います。マンションに住んでいる人には、階段利用のアップダウンについてもポイントを付与して、ジムやプロテインの割引購入などに使えるように運動するというのも一つです。
4・5	・当該評価項目は極めて重要かつ深刻なテーマであるが、一方で相当な時間をかけて成果に現れるものであり、短期的な成果を指標として捉えることは適切でない点もあると考える。 ・それを踏まえて、例えば、市が主体となって各地域と連携して、高齢者が定期・継続的に運動する機会を設ける等の能動的な取組が必要だと思う。(例えば、昔の夏休みのラジオ体操のようなイベント等) ・その一環として、個別事業7の「手賀沼・東部地域を核として観光・交流の創生」に関連させたイベントを開催するのも面白いのではないかと。

基本目標 3

該当個票No	考えられる未達要因や達成に向けて今後必要と思われる取組み・アイデア
全	基本目標3の6～11の自己評価内容を拝見しますと、バラバラ感が強く、それぞれの事業の関連性や相乗効果をもっと議論されるべきではないかと感じます。
7	質問欄にも書きましたが、農政課が補助金事業として手賀沼地域での取組みももっと運動して(やっているとは思いますが)、成果に繋げていることをわかりやすく説明するといのではないかと感じます。
8	「生活習慣病対策＝ウォーキング」という発想もありますが、「道の駅しようなん」は駅から徒歩25分ほどかかる場所にあります。個票4と個票8の取り組みを連携することでお互いを出し合うと、互いを補うアイデアが生まれてくると感じています。道の駅しようなん、かぶをはじめとした柏市の豊かな農作物など、見どころがたくさんありますが、「駅から遠い」という印象が先行して、若者の集客力が不足しているように感じます。(本学の学生からのヒアリングにて) 大学間連携も絡めて、これらの課題を横断的に取り組んでいける体制ができるとよいかと感じました。
11	柏駅周辺は商店や公共機関などが充実していると感じるが、それに反して(特に西口方面は)自動車でのアクセスが非常に悪く(渋滞の多発や民営駐車場の立地・料金の問題など)、それが駅から遠い場所に住む市民が流山など他市の商業施設に流出する原因になっているように感じられます。  ・国道16号からの導線の円滑化 ・駐車可能な施設の広報
11	・多くの市民は経済的な軸で良い街かどうか判断し訪れるものと思う。それには、生活に便利な街になることで評価されるので、飲食店、病院、学習の場、遊びの場など選択肢が豊富であることが大切だと思う。 ・飲食店等の開業支援としての市独自補助 ・飲食店開業までの支援(柏駅周辺にインキュベーション施設設置) ・柏駅周辺でインバクのある「子育て環境」の整備は早急に実施。